

(日技生涯研修 自由研修課程申請資料)

2014年 9月
兵庫県歯科技工士会播州地区

兵庫県歯科技工士会 播州地区学術研修会概略 (平成26年12月7日開催予定)

ヘレウスクルツァージャパン株式会社に勤務されている日技認定講師の小野寺保夫氏より、最新 CAD/CAM システムと歯科技工の関わりについてお教え頂き、またその一方で歯科技工に於いてまだまだ重要である鋳造についても、そのトラブル解決法をお教え頂きます。そのほか実習研修として、簡単に製作できるレジンジャケット冠の製作方法についてデモを通してご紹介頂き、実習を行う内容で開催します。

演題及び抄録は以下の通りです。

1. 最新 CAD/CAM システムと歯科技工のかかわり

近年、歯科補綴臨床において鋳造による補綴物が CAD/CAM システムの出現によって、今まで扱えなかった材料を加工できるようになり、補綴物の多様化が急速に進んでいます。さらに今年 CAD/CAM で製作したジャケットクラウンが保険対応となり、更に CAD/CAM 化が加速する兆しが見えています。

そこで今回は最新 CAD/CAM システムを紹介するとともに今後、歯科技工の価値を高めるためにどのように CAD/CAM システムを応用していくかを皆様方と一緒に考えていきたいと思えます。

2. ナノフローレジンを用いた [らくらくレジンジャケット冠製法]

従来法でのレジンジャケットクラウン製作に関して、フローレジンを用いると驚くほど簡単でしかもビタシェードに大変よくマッチします。フローレジンの特性をデモを通して、体験していただきたいと思えます。

3. 鋳造トラブル解決法

近年、CAD/CAM の普及によって鋳造が不可能な材料でも加工することができるようになっており、幅広い材料の選択が可能となっている。しかし、歯科技工において、まだまだ鋳造に頼ることも多く、鋳造欠陥は作業効率を著しく低下させるため、臨床家の誰もが欠陥の無い鋳造体を望んでいる。そこで今回は、26年に及ぶ臨床トラブル集から、それらの鋳造欠陥の原因を明らかにしたうえで臨床的な解決策を提示させていただきたいと考えております。

以上